

つくばね vol.28no.2

● 目次

- 1 絵と数学についての“雑感”
- 3 図書館見学承ります！
- 5 本学教官寄贈著書紹介
- 7 私の一冊
- 9 Ask Us としょかんミニガイド
- 11 とびつくす
- 12 掲示板

絵と数学についての“雑感”

神田 護

私が油絵をやりだしたのは、60歳を目前にしたある年のことであった。市で主催する短期の絵の講習会に、真新しいキャンパスと絵の具をかかえて、多少おどおどしながら参加した。

絵の講習会では、まず“対象”（静物だとかモデル）が与えられて、デッサンから始まる。正確に描写できる人もいれば、なかなか形のとれない人もいる。対象の特徴をとらえた鋭いデッサンもあれば、丸みを帯びた丹念なデッサンもある。その次は“色塗り”である。これこそ最初から人によって大きく異なる。例えば赤い花が対象であっても、赤を最初から塗るとは限らない。赤といっても種々の赤があり、また、“塗り方”も、激しく塗る人もあれば、しっかりと丹念に塗っていく人もある。従って、まったく同じ対象を描きながらその色、手法の選択の差によって、完成作品は千差万別である。

数学の研究もまったく同じであると思っただ。しばしば、高校時までの数学体験しか持たない人から、“数学は答えが一つでいいですね”などと言われて困ってしまうことがあるが、少なくとも研究段階ではそうではないのである。あるテ

ーマをもって研究をはじめめる。まず初期段階においても、そのテーマを一方向から鋭く切り込む人もいれば、明確に問題点を整理していく人もいる。勿論、この時点で焦点がなかなか定まらない場合も多い（デッサン段階）。さて各段階から次の段階へと進むとき、論理的に整合する選択肢が1つとは限らない場合が多い。その選択において、各人の、“美意識”が大きく作用すると思っている（それを明確に意識しているかどうかは別にして）。結果として、同じテーマから出発したのにも係らず、論理の展開が異なり、人によってかなり異なった理論体系が構築される。勿論、成果らしい成果が出せぬ場合も多いが……。

“美意識”の役割は途中の段階での選択においてだけでなく、テーマの選択にも関わってくる。このことは数学だけでなく、他の科学でもその役割の制限の強弱こそあれ、同様ではないかとひそかに思っている。もしそうだとすれば、“美意識は科学の方向、ひいては社会の方向を決定する”という極端かつ独断的な言い方も可能であろう。私は“極端”な言い方が好きなのでこれを採用し、“美の社会的意義”と勝手に呼んでいる。もし異

星人がいるとすれば、かなり“美意識”は異なるに違いない。それに応じて、その基礎的な論理構造は変わらぬとしても、科学の展開はかなり異なった様相を呈しているであろう。ある分野は地球のそれより遥かに進展しているが、ある分野は遅れているかも知れない。

私はここで“美意識”という言葉をはなはだ曖昧に用いている。それを定式化する力はないが、ただ人間を人間足らしめている何か根源的なものの1つであり、それを美そのものに集中して表現されたものが、アーティスト達の作品であり、美意識の結晶であるといったような（まだまだ曖昧な）イメージをもっている。

上で述べたことは極端といえるが、考察に値する問題を含んでいると思う。いわゆる“東洋美術”と“西洋美術”の違いは、それぞれの科学の発展の違いと無関係なのだろうか？ 絵画の世界では、19世紀後半の印象派革命に端を発して、20世紀前半に種々の絵画の革命、改革運動が生じた。それらが20世紀前半の相対性理論、量子力学の発見及び展開、ヒルベルト等を中心とする現代数学の新しい波（その代表選手の一人であるフォン・ノイマンの仕事は、当時の卓越した古典数学者をして“これが数学か？”と言わしめたものであったことを付け加えておく）等と内的関連性はないだろうか？

勿論、個々の科学者の中には美術に関心を持たない人もいるし、ピカソやマチスなど現代美術が大嫌いだという人もいる。いかにモナ・リザが立派な作品であろうと、ピカソがいかに偉大であろうと、個々の作品の具体的な影響を論じることは不可能であろう。私は、過去から現在までの美術作品に触れるとき、それがいかに美を通じて、人間の感性に置かれた種々のバリアーを取り除き、その力を拡大し、深めていったかに深く感銘する。多くの卓越したアーティスト達の努力が、多くの人々の感性を豊かにし、その時代特有の美意識を形づくっていったのだと思う。たとえ、美術作品に直接触れることがなくても、美に無自覚であっても“時代の美意識”に、科学者といえど

も無縁ではありえないと思う。実は、現代数学と他の自然科学との間にも似た関係がある。現代数学の結果それ自体は他の自然科学の結果に直接関わりがないことが多く、しばしば現代数学は敬遠されることがある。私は、数学者は“科学探求の手段”としての“表現”に関する種々のバリアーを取り除いていくという役目をも持っていると思う（その意味でアーティストの役割との類似点がある）。古い例では、数学者による新たな幾何学の展開が、ある種の感性のバリアーを取り除き、たとえその幾何学を勉強していなくても、アインシュタインの才能をして相対性理論の発見を可能にしたというのは、数学者による身びいきだろうか。近くの例では、まさに現代数学の発展がなければおそらく不可能な“超ヒモ理論”がある。もっとも、この理論は余りにも数学に依存しているので、かならずしも評判が良いとはいえないようだが・・・

ともあれ、芸術・文学・思想等だけではなく科学まで考察して、その内的構造の探求まで試みた総合的な人間の精神文化史というのがあっていいと思うのですが・・・もしご存知の方は教えてください。

さて、美術と数学には、次の類似点もある。それは、プラグマティックな意味で役に立たないということで、不景気なときは予算縮小の対象にされやすい点である。確かに数学の結果それ自体がすぐに役に立つことはあまりないし、尊敬すべきコマーシャルアート、嫌悪すべきプロパガンダ芸術を除いて、美術に即席の効用は期待できない。近年、人工知能—ロボットが話題になっていて、いかに人間に近づけるかが大きな目標である。その試金石として“ロボットに数学ができるか？”、“絵が描けるか？”が考えられている。前者については、かなり進んでいて、初等幾何のある問題が解けたり、チェスのチャンピオンを破ったりの段階までいっているようである。私は、“数学は論理による知的ゲーム”とは考えない立場なので（絵を色彩ゲームとは思わないのと同じ）、高等数学が展開できるロボットが可能とは

思えない。絵についても、与えられた対象の形をかなり正確にとり、それに応じた色を塗るロボットは、遠からずには可能であると思う。即ち、初等的な写実画ならロボットにも可能であろうと思う。ところで、写実にしても画家はしばしば同一対象で数枚の絵を描くことがある。同一なものはひとつとしてなく、それぞれが独自の趣を持っている。この同一でないということが重要であって、そこに創造の秘密が潜んでいるのではないか？おそらくロボットが同一条件で同一対象を複数描くとき、それらはほとんど同一なものになるであろう。ロボット・アートという新しいジャンルができることは、否定しないが・・・。

私見では“美を創造する”，例えば“絵を描く仕組み”は最後まで残る謎の1つではないかと思っている。いいかえれば，“数学をする”，“絵を

画く”といった行為は、人間の根源に関わった行為であると思う。たとえ、その成果が大したものでもなかろうと、よい絵でなかろうと，“数学をする”，“絵を画く”ことに費やした時間は、人間らしく生きた時間であり、プラグマティックな意味では役立たなくても、それ自体意義があるものと思っている。私は、これを勝手に“数学或いは美の個人的意義”と呼ぶことにしている。

さて、冒頭で述べたように私は絵をはじめた。個人的意義は十分であったが、社会的意義はまだゼロに等しい。この雑文で書いたことは、“当たり前”か逆に“全くインチキ”として直ちに論破されるようなこじつけが多いと思いますがお許しください。

(かんだ・まもる 数学系教授)



図書館見学承ります！

図書館見学案内事情

筑波大学附属図書館を30分間でPRする。それがどんなに難しいことか、本当に今日は上手くできたということがありません。

「開かれた図書館」「集中管理」「全面開架」「電子図書館」・・・決まり文句と、統計データを駆使しても見学者の心をつかむのは容易なことではないのです。

図書館公関係では主に中央図書館の見学について担当しています。筑波大学附属図書館は開館以来見学者が大変多く、見学にまつわるエピソードなどもたくさんあったようです。

今回はそんなこともまじえながら、中央図書館の見学についてその一端をご紹介します。

<図書館オリエンテーションと館内案内>

図書館見学者は、大きく学内者と学外者に分けられますが、学内者向け見学として図書館オリエンテーションの一環での館内案内があります。

新入生を対象にレファレンス係で開催するブレ

ッシュマンセミナーでは、図書館の利用案内、OPACの操作方法等と併せ、館内ツアーを行ないます。先生から出題された課題の資料を探したり、各カウンターの紹介やコピー機の場所、ちょっとした図書館利用のコツなども入れながらのツアーです。年間10件くらい、500人以上の新入生が参加しています。また毎年4月には理療科教員養成施設の新入生の方々も来られます。目の不自由な方への館内案内なので、専門知識の豊富な附属図書館ボランティアのサポートで実施しています。とにかく新入生の皆さんには、これからの大学生活に欠かせない図書館をよく知ってもらいます。

新入生の皆さんと並んでもう一つのお得意様は留学生の方々です。図書館では年に数回留学生向けの図書館オリエンテーションを開催しています。日本語での案内、英語での案内があり、それぞれに工夫をこらした館内ツアーとOPACの操作方法のガイド補助を行います。外国語が堪能なボランティアの方々が活躍しています。

<高校生やPTAの施設見学案内>

筑波大学では、高校生やPTAを対象に大学紹介のための施設見学を積極的に受付けています。大学のホームページにも、見学できる施設として附属図書館を第一に紹介しており、見学先として最も人気の高い施設です。図書館利用者の少ない午前中の時間帯に限ったり、大学の試験期間（その1週間前から）を避けるなど、本来の利用者への配慮からある程度は受入を制限していますが、それでも昨年度は25件、1138名の生徒や保護者の方々が来館されました。20分程の限られた時間ですが、筑波大学附属図書館の特徴をいかにして伝えるか、興味をもっていただくか、魅力的な図書館だということを少しでも感じてもらえるよう努力しています。

図書館の印象が良ければそれは大学のイメージアップにもつながるわけですので、ノーベル賞の白川先生やサッカーの中山選手の話を取り上げたりと、高校生の方々にも身近な切り口で説明しています。新館の雑誌バックナンバーのコーナーで、電動集密書架を動かすと、クールな高校生にもどよめきが起こります。

集会室での大学紹介ビデオの上映や、AC入試の説明会などを同時に開催することもあり、会場の設営や機器の準備など事前に行なう作業も伴います。受付窓口である総務部広報調査課との、部局を超えた連携が必要で、大学広報の一役を担っているということを実感します。

<外国人来訪者>

筑波大学には学長への表敬・懇談を目的とした海外からのお客様が多数訪れます。また大学間交流協定校は20カ国79校にも及びますが、それらの協定校からの施設見学などに訪れる外国人学生も多く、これらの外国人来訪者は附属図書館にもよく立ち寄られます。国際交流課が窓口となり日程の調整や通訳の手配などを行ないますが、図書館の見学行程は図書館部で作成します。附属図書館長がお迎えすることも少なくないので、スケジュールの調整や資料の準備にも配慮が必要です。

特に外国人の方は日本の古い資料に興味を示さ

れるので、貴重書展示室や貴重書庫を見学コースのメインにしています。最近図書館長のアイデアで明治時代の教育錦絵のパネルシートを手作りし、お土産として使っていますが、大変好評で日本人の随行者の方々からも反響をいただくほどです。錦絵のお土産は古典資料係が作成しています。

貴重書と並んで見学希望が多いのが電子図書館のデモですが、つい先頃見えたイランイスラム共和国の研究者一行も電子情報係の説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。耳を傾けると申しましたが、ほとんどの場合通訳付きです。ただこの時は予定していた通訳者が同行されず、当日いきなりボランティアに応援をお願いしたという顛末がありました。外国人来訪者をお迎えする上で頭が痛いのは言葉の問題以外に、予定時間が遅れるということも覚悟しなければなりません。時にはキャンセルということも・・・。

<その他の見学者>

とにかく図書館を見たいという方々にはできる限り対応していますので、図書館関係者の視察や研修出張、大学図書館職員長期研修等の専門の方々から、中学生の職場見学にいたるまで様々な見学案内をしています。見学者の興味や専門性によってコースや内容をアレンジし、用語や話し方、歩くスピードに変化を持たせるなどの工夫をしています。

筑波大学附属図書館は、メインカウンターでの簡単な手続きで自由に見学できますが、もし案内付きで回ってみたいというご希望がありましたら、図書館公関係に申し込んでみてください。

附属図書館ボランティアの見学案内活動

筑波大学附属図書館の見学案内をご紹介する上で欠かすことのできない存在が附属図書館ボランティアです。一度に大勢の見学者がある場合、図書館のスタッフだけでは手が回らず苦慮することがありました。

しかし、平成7年度から活動を始めたボランティアの方々のご協力で、大口の高校生への対応だけでなく、外国人来訪者や身体の不自由な方にまで、館内案内に豊かさと広がりを持たせることが

できるようになりました。昨年フランス省庁視察団をお迎えした際には、錦絵のお土産をボランティアの方がフランス語で解説して非常に喜ばれました。また今年5月に来館された上海図書館長からは、ボランティアを大変評価したお礼状をいただいています。担当するボランティアの方々の意識は高く、常に勉強し筑波大学附属図書館に好感を持ってもらえるような案内を心がけてくださっています。

「また来てみたい」図書館を

ここ数年の統計では、年間2000人以上の見学者をご案内しています。館内数箇所のポイントで説

明しますが、制限時間内ですべてを言い尽くすのは不可能です。それぞれのポイントでここはまた来てゆっくり見てみたい、という気持ちを抱いていただければ充分かと思えます。ちょっとしたことでも関心を持たれてのご質問や、お帰りの際に「ありがとう」の言葉をいただくことが小さな喜びであり励みにもなります。見学案内は気配りが要求されアクシデントも伴いますが、実に多様で面白い図書館業務だと再認識し、30分間の出会いを大切にしています。

(図書館公開係)



見学案内風景



本学教官寄贈著書紹介

平成14年4月～6月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介いたします。

(敬称略、寄贈者五十音順、所属は平成14年度のもので、〔 〕内は配架場所と配架番号です。)

青木三郎 (文芸・言語学系)

- ・ことばのエクササイズ、ひつじ書房、2002
〔中央 801-A53〕

浅野勝己 (名誉教授)

- ・運動生理学概論 / 菊地和夫 [ほか] 共著、杏林書院、2002 [体芸 491.367-A87]

入江康平 (体育科学系)

- ・近代弓道書選集 復刻版 第1巻～第9巻、別冊、本の友社、2002 [体芸 789.5-I64]

上野賢一 (名誉教授)

- ・皮膚科学 改訂第7版、金芳堂、2002 (Minor textbook) [医学 494.8-U45]

五十殿利治 (芸術学系)

- ・越境する想像力 / モダニズム研究会編、人文書院、2002 (モダニズムの越境：1) [体芸 702.06-Mo13-1]
- ・権力 / 記憶 / モダニズム研究会編、人文書院、2002 (モダニズムの越境：2) [体芸 702.06-Mo13-2]
- ・表象からの越境 / モダニズム研究会編、人文書院、2002 (モダニズムの越境：3) [体芸 702.06-Mo13-3]

駒井 洋 (社会科学系)

- ・国際化のなかの移民政策の課題. 明石書店, 2002 (グローバル化する日本と移民問題: 第1期 第1巻) [中央 334.41-Ko98-1]
- ・外国人の法的地位と人権擁護 / 近藤敦編, 明石書店, 2002 (グローバル化する日本と移民問題: 第1期 第2巻) [中央 334.41-Ko98-2]

佐藤一雄 (名誉教授)

- ・テキスト独占禁止法 新訂2版 / 川井克俊, 地頭所五男共編. 青林書院, 2002 [大塚 335.57-Sa85]

佐藤政良 (農林工学系)

- ・鬼怒川・小貝川水と暮らし: 利用の仕組みと環境の再生 / 鬼怒川・小貝川流域を語る会編. 高田印刷, 2002 [中央 291.13-Ki47]

佐藤泰正 (名誉教授), 徳田克巳 (心身障害学系)

- ・高齢者・障害者の心理. 学芸図社, 2002 [中央 378-Sa85]

田崎健太郎, 松村和則 (体育科学系)

- ・スポーツ車用サイクルトレインの利用促進に関する調査研究報告書. 日本サイクリング協会, 2001 [体芸 786.5-Su75]

田中優美子 (臨床医学系)

- ・婦人科検査マニュアル: データの読み方から評価まで / 倉智博久編. 医学書院, 2002 (Ladies medicine today) [医学 495.2-Ku51]

谷川彰英 (教育学系)

- ・地名の魅力. 白水社, 2002 [中央 291.034-Ta88]

辻中 豊 (社会科学系)

- ・日本の政治 第2版 / 村松岐夫, 伊藤光利共著. 有斐閣, 2001 (有斐閣Sシリーズ: 42) [中央, 大塚 311-Mu48]
- ・現代日本の市民社会・利益団体. 木鐸社, 2002 (現代世界の市民社会・利益団体研究叢書: 1) [中央, 大塚 361.65-Ts45-1]

手打明敏 (教育学系)

- ・近代日本農村における農民の教育と学習: 農事改良と農事講習会を通して. 日本図書セン

ター, 2000 [中央 611.97-Te91]

徳田克巳 (心身障害学系)

- ・障害社会学入門 / 趙供仲共編著. Child Center, 出版社, 2001 [中央, 大塚 369.27-To35]
- ・視覚障害者の特性及び盲導犬使用者の職場環境 / 日本障害者雇用促進協会編. 日本障害者雇用促進協会, 2002 (障害者雇用管理等講習資料シリーズ: 165) [中央 369.27-N77]
- ・看護・医療・教育・保育・福祉に関わる人のための心身障害学 / 埴和明共編著. 文化書房博文社, 2002 [中央 378-To35]
- ・障害者用駐車スペースの利用の適正化に関する総合的研究 / 国際交通安全学会著. 国際交通安全学会, 2002 (研究調査報告書: 平成13年度) [中央 681.5-Ke45-2001]

徳永澄憲 (農林学系)

- ・マクロ経済理論 / A.B.エーベル, B.S.ベルナッケ著; 伊多波良雄 [ほか] 訳. シーエーピー出版, 2000 (マクロ経済学: 1; 入門編) [中央 331-A13-1]
- ・マクロ経済政策 / A.B.エーベル, B.S.ベルナッケ著; 伊多波良雄 [ほか] 訳. シーエーピー出版, 2000 (マクロ経済学: 2; 応用編) [中央 331-A13-2]
- ・Landownership and residential land use in urban economies: existence and uniqueness of the equilibrium. Springer, c1996 [中央 334.6-To41]

直江俊雄 (芸術学系)

- ・20世紀前半の英国における美術教育改革の研究: マリオン・リチャードソンの理論と実践. 建帛社, 2002 [中央, 体芸 375.72-N49]

中田光雄 (現代語・現代文化学系)

- ・政治と哲学: 「ハイデッガーとナチズム」論争史の一決算 下巻. 岩波書店, 2002 [中央 134.9-H51-2]

古久保一徳永 (生物科学系)

- ・ホメオボックス・ストーリー: 形づくりの遺伝子と発生・進化 / ワルター・J. ・ゲーリ

ング著；浅島誠監訳，東京大学出版会，2002

[中央 467.2-Ts44]

舛本泰章（物理学系）

・ Semiconductor quantum dots : Physics, spectroscopy and applications /

T. Takagahara 共編，Springer-Verlag, c2002

[中央 428.8-Ma68]

宮本陽一郎（文芸・言語学系）

・ モダンの黄昏：帝国主義の改体とポストモダニズムの生成，研究社，2002

[中央 702.5-Mi77]

守屋正彦（芸術学系）

・ 近世武家肖像画の研究，勉誠出版，2002

[中央，体芸 721.05-Mo72]

横山幸三，竹谷悦子，長岡真吾，中田元子，

山口恵理子（現代語・現代文化学系）

・ 英語圏文学：国家・文化・記憶をめぐるフォーラム / 横山幸三監修，人文書院，2002

[中央 930.4-Ta66]

Corrado Gavinelli（芸術専門学群）

・ L'architettura di Leonardo Ricci : agapee riesi / a cura di Mirella Loik, Gianni Rostan, Claudiana, 2001 [体芸 524.37-R33]

・ Il villaggio di monte degli ulivi a riesi di Leonardo Ricci / Emanuele Tuccio, Estmodus, 2001 [体芸 524.37-R33]



私の一冊

宮本陽一郎

『モダンの黄昏』



いよいよ出版があと三ヶ月に迫った頃，母から電話があり，祖父の遺品のなかに私の気に入るような絵はがきが何点かあったので送っておいたよ，と告げられました。それは祖父が，1939年にニューヨークで購入したものでした。パリで生活していた祖父が，大戦勃発とともに最後の避難船鹿島丸で日本に帰ってきたことは知っていましたが，ニューヨークに立ち寄っていたということは，意識にありませんでした。

私の本は，アメリカ合衆国の帝国主義文化が1930年代に自己再編成を遂げて今日の世界秩序の原型を作り出すまでを述べています。1933年のア

メリカ映画『キング・コング』のクライマックスで，黒い巨獣がエンパイア・ステート・ビルに登っていきませんが，そのときキング・コングが目にしたであろうニューヨークの風景を読み解くという，ちょっと奇をてらった書き出しになっています。絵はがきのなかの一枚は，1930年代末にまさにエンパイア・ステート・ビルの頂上から俯瞰したマンハッタンを捉えていました。

しかもウォール街の方向をのぞむその写真には，（当たり前ですが）世界貿易センタービルの姿がまだありません。ちょうどその頃執筆していた「あとがき」のなかで，本論の完成後に起こった「9月11日」のテロ事件にふれ，この本のなかで論じたグローバルな力とそれを脅かす黒い存在の遭遇は決して終わることなく長い長い「黄昏」を今日まで続けているということを書いたところでした。絵はがきの写真は，キング・コングが1933年に見た風景と，そして「9月11日」以降の世界貿易センタービルのない風景に重なり合いました。

勝手なもので，十年あまりのあいだずっとこの風景を見ながら一冊の本を書いていたような気分になり，その場でこれを表紙に決めました。

（みやもと・よういちろう 文芸・言語学系助教授）

直江俊雄

『20世紀前半の英国における
美術教育改革の研究』

マリオン・リチャードソンの理論と実践』

(建帛社)



20世紀前半の英国における初等・中等教育の美術学習は、大きな変革期にありました。それは、すべての人が表現の主体者として固有の価値を生み出しうる存在であるとする理想を共有した、学習者中心の教育を志向するものであったといえます。このような時期に、マリオン・リチャードソン(1892-1946)は、地方の中等学校での指導を通して子どもたちの内面的イメージを重視した独自の教育方法を発展させ、のちにロンドン市美術視学官として、改革の中心的役割を果たしました。その成果は美術批評家ロジャー・フライやハーバート・リード、美術史家ケネス・クラークらの熱心な支持を受けて注目を集めました。具体的な方法や理論の形成過程には不明の点が多く残されていました。

本書は、近年新たに公開された当時の未刊行資料の現地調査にもとづき、リチャードソンの美術教育論と実践の解明を通して美術教育史研究に新たな視点を提示するとともに、今日までその影響を残す20世紀前半の美術教育改革の意味を問い直そうとしたものです。特に、子どもたちと現代美術の現場との相互交流の結節点となる教育者の中で独自の理論と方法が形成された過程を示すこと、これまで看過されていた「マインド・ピクチャー」と呼ばれる独特の方法について、約500点に上る作品群のデータベース化をもとに、その特質と役割を明らかにすること、学習者中心の教育への転換の質が再び問われる現代への導入の示唆などは、本書における主要な課題となりました。

本書は、2000年3月に学位授与を受けた同標題の博士論文をもとに、2002年2月、日本学術振興会科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の助成によって出版したものです。駆け出しの研究者の初期の通過点です。今後、これを乗り越える仕事を展開できるよう努力してまいります。

研究室ウェブサイトでも紹介しています。

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~naoe/>

(なおえ・としお 芸術学系講師)



NACSIS-IRの使い方について

NACSIS-IRは、国立情報学研究所が提供しているオンライン情報検索サービスです。

*研究テーマについて、国内でどんな論文が発表されているか

*研究の最新動向を知りたい

*参考となる文献はどこにあるのか

このような場合に、必要とする文献情報や学術情報を探し出すことができます。

各図書館内に設置された端末および学内LANに接続された端末から、WWWブラウザを使って、利用可能です。

§ 1. NACSIS-IRに接続する

まず、筑波大学電子図書館のトップページ→学術論文情報データベース→NACSIS-IR（機関別定額制）→情報検索サービス（NACSIS-IR）機関別定額制へ接続の順にアクセスしてください。

NACSIS-IR機関別定額制のページが開いたら、[Web Front日本語]（または[Web Front English]）をクリックし、次に処理選択メニューで、NACSIS-IRをクリックします。

§ 2. データベースを選択する

データベース選択

履歴 || 一覧表示 || 設定変更 || ガイド || 終了
 複合検索 / 絞り込み検索 / コマンド検索 / ジョーラス検索 / 索引通覧

※各データベース名のチェックボックスをクリック、もしくは、データベース名の欄にデータベースIDまたは略称を入力してください。（複数選択する場合は、カンマで区切ってください。）

選択実行 | データベース名 |

ID	データベース名 [略称] (収録範囲)
<input type="checkbox"/>	1 科学研究費補助金研究成果データベース (AKENKI) (1985 - 2001) COPYRIGHT 国立情報学研究所
<input type="checkbox"/>	2 学位論文索引データベース (DAKUJ) (1957 - 2001) COPYRIGHT 国立情報学研究所
<input type="checkbox"/>	3 学会発表データベース (SHAKUJ) (1987 - 2001) COPYRIGHT 参加学協会及び国立情報学研究所

図1 データベース選択画面

「データベース選択」画面(図1)で検索したいデータベースの左のチェックボックスをチェックし、[選択実行]をクリックしてください。(データベースは、一度に複数選択することもできます)

§ 3. 「検索」をする

①簡単検索 データベースを選択すると「簡単検索」画面(図2)が表示されます。

簡単検索

履歴 || 一覧表示 || 設定変更 || データベース選択 || ガイド || 終了
 複合検索 / 絞り込み検索 / コマンド検索 / ジョーラス検索 / 索引通覧

検索方法: FIND
 検索条件: 白川英樹
 検索実行 | リセット

範囲: レコード全体
 レコード全体
 標題・名称
 著者
 キーワード
 レコードタイトル
 他言語タイトル
 収録雑誌・資料名
 編者名
 出版者名
 ISSN
 ISBN
 発行

「簡単検索」での検索方法の変更について
 平成13年6月1日から、検索方法について変更を

1. 検索条件
 [検索方法] FIND を選択し、[検索条件] に

図2 簡単検索画面

検索条件：に調べたい語句や人名などを入力します。2つ以上の検索語を空白で区切って入力した場合、検索語すべてを含むレコードの検索を行います。次に検索語を探す範囲：をプルダウンメニューから指定して[検索実行]します。

また、画面上部には、メニュー項目(図3)が表示されていて、希望する画面を選択できます。ここでは、一番利用が多いと思われる複合検索について説明します。

履歴 || 一覧表示 || 設定変更 || データベース選択 || ガイド || 終了
 複合検索 / 絞り込み検索 / コマンド検索 / ジョーラス検索 / 索引通覧

図3 メニュー項目

②複合検索 複合検索をクリックして「複合検索」画面(図4)を表示させます。

複合検索

履歴 || 一覧表示 || 設定変更 || データベース選択 || ガイド || 終了
 簡単検索 / 絞り込み検索 / コマンド検索 / ジョーラス検索 / 索引通覧

近接演算記号文字列: AND

レコード全体	AND	標題・名称	AND	著者	AND	キーワード	AND	年次	AND	検索実行	リセット
すべて含む		すべて含む		どれか含む		隣接に連続して検索		すべて含む			

図4 複合検索画面

「複合検索」では、複数の条件を組み合わせて検索することができます。検索範囲が、レコード全体、標題・名称、著者、キーワード、年代などのようにあらかじめ表示されており、それぞれに検索語を3つまで入力できます。検索語入力項目右側の“すべて含む”は、項目のなかで複数入力した検索語間についての指定で、選択できます。一番左側の“AND”は項目と項目との関係を演算子で指定しています。例えば”題名に導電性および高分子という語を含み、著者が白川英樹氏の論文を探す“場合は、(図4)のように入力し、[検索実行] します。

§ 4. 検索結果を表示する

①一覧表示 検索実行すると「一覧表示」画面(図5)にうつります。

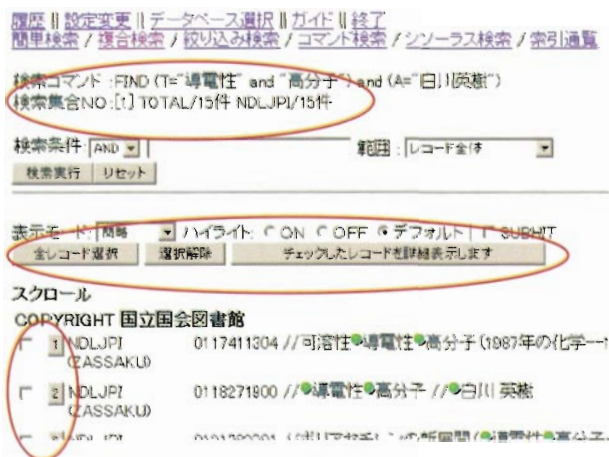


図5 一覧表示画面

画面上部に、検索結果集合番号およびヒット件数が表示されます。画面下部に、検索条件に該当するレコードが表示されます。

②詳細表示 「一覧表示」画面で各レコード左の番号をクリックすると、そのレコードの詳細が表示されます(図6)。また、一番左のチェックボックスにチェックをいれ、[チェックしたレコードを詳細表示します] ボタンを押して詳細表示させることもできます。表示モードは、簡略・書誌事項・コンパクト・全項目から選べます。

詳細表示の項目にNCID:がある場合は、参照機能が使えます。ID番号をクリックし、次の画面で[Webcat] をクリックします。これにより、

詳細表示された論文が掲載されている雑誌の、所属図書館を簡単に調べることができます。

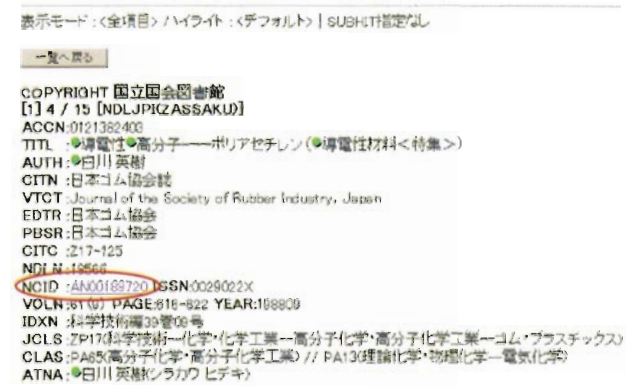


図6 詳細表示画面

ここでは、国立国会図書館が作成している雑誌記事索引データベース(国内の主要な学術雑誌約9000誌が収録対象)を例として、検索のながれを説明してきました。

NACSIS-IRでは、この他にも下記を含む50種類のデータベースがご利用になれます。

データベース名	収録期間
雑誌記事索引データベース	1975—
学位論文索引データベース	1957—
科学研究費補助金研究成果概要データベース	1985—
民間助成研究成果概要データベース	1964—
学会発表データベース	1987—
研究者ディレクトリ	2001.5 現在
学術関係会議等開催情報	最新版

NACSIS-IRのデータベースのうち、機関別定額制ではサービス対象外となっている4種類のご利用については、レファレンスデスクまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

検索方法：レファレンス係(内線2784)

接続方法：電子情報係(内線2470)



とぴくす

〔学外〕

第58回関東地区国立大学図書館協議会総会

4月26日(金)総合研究大学院大学の当番で開催されました。

〔報告〕○平成13年度第3回国立大学図書館協議会理事会について○国公立大学図書館協力委員会の活動について○会長補佐の設置及び指名について 他

〔協議〕○電子ジャーナル・タスクフォース(EJTF)の今後のあり方について○独立行政法人化に伴う諸課題について 他

平成14年度国立大学附属図書館事務部課長会議

5月21日(火)学術総合センター一橋記念講堂において、文部科学省により開催されました。

〔議事〕○大学図書館の当面する諸課題について○新しい時代における大学図書館の役割○大学改革について○著作権制度の最近の動向 他

国立大学図書館協議会理事会(平成13年度第4回)

5月23日(木)東京大学附属図書館で開催

第49回国立大学図書館協議会総会

6月26日(水)～27日(木)鳥取県民文化会館において、鳥取大学の当番で開催されました。

〔報告等〕

○一般経過報告○国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会報告○国立大学図書館協議会海外派遣者選考委員会報告○図書館高度情報化特別委員会報告 他

〔協議〕○平成14年度理事館・地区連絡館・所属部会一覧(案)○平成13年度決算報告(案)・財産目録(案)○平成14年度事業計画(案)○文部科学大臣に対して特に要望すべき事項各地区別一覧 他

〔学内〕

第246回附属図書館運営委員会(4月開催)

〔審議〕○副委員長の選出について○各館委員会委員長の指名について○平成14年度専門委員会委員の選出及び委員長の指名について

〔報告〕○平成13年度附属図書館運営委員会活動状況について○筑波大学附属図書館における学外者の利用に関する実施要領について

第247回附属図書館運営委員会(5月開催)

〔審議〕○「筑波大学附属図書館規則」の一部改正について○「筑波大学附属図書館の運営に関する細則」の一部改正について○平成13年度附属図書館資料購入計画決算報告書〔図書館経費〕について○平成14年度附属図書館資料購入計画〔図書館経費〕(案)について

〔報告〕○各専門委員会報告—蔵書構成専門委員会(第58回)について—○平成13年度筑波大学附属図書館業務統計について

第248回附属図書館運営委員会(6月開催)

〔審議〕○筑波大学附属図書館利用規程及び同利用細則の一部改正について○平成13年度版筑波大学年次報告書〔附属図書館〕について

〔報告〕○教育図書委員会(第31回)について○各専門委員会報告—電子図書館専門委員会(第11回)、ボランティア専門委員会(第6回)—について



掲示板

特別展開催のお知らせ

12月2日から18日まで附属図書館特別展を開催します。今回は、歴史・人類学系との共催で北野神社の文書と記録を中心にした内容です。皆さんに関心を持って観ていただけるように、準備作業

を進めているところです。詳細については、後日広報誌やポスター、チラシなどでご案内します。多くの方々のご観覧をお待ちしています。

図書館情報大学との統合について

10月1日に筑波大学は図書館情報大学と統合いたします。これに伴い、これまでの図書館情報大学附属図書館は、図書館情報学図書館として中央、体育・芸術、医学、大塚の各図書館と同様に利用できるようになります。

また、統合を機に、貸出可能冊数が大学院学生

は20冊（現在は10冊）、学群学生は10冊（同5冊）に増加されます。医療技術短期大学学生、研究生、科目等履修生等も、各々冊数が増加されますが、詳しくは附属図書館のホームページをご覧ください。または各図書館のカウンターでお問い合わせください。



附属図書館のある建物



情報メディアユニオン全景
デジタルメディア部門は1、2階



プリントメディア部門の入館ゲート



デジタルメディア部門入口